

富士見市内小学校・中学校のいじめの実態について

小学校	11校	児童数5,643人	平成27年5月1日現在
中学校	6校	生徒数2,689人	
特別支援学校	1校	児童生徒数58人	

いじめの認知件数

	平成25年度	平成26年度
小学校	26 (解消26)	26 (解消26)
中学校	14 (解消14)	8 (解消7)

不登校児童生徒数 (出現率)

	平成25年度	平成26年度
小学校	32 (0.55%)	28 (0.49%)
中学校	72 (2.60%)	92 (3.40%)

暴力行為発生件数 (加害児童生徒数)

	平成25年度	平成26年度
小学校	25 (18人)	22 (16人)
中学校	40 (36人)	26 (24人)

平成26年度 いじめの認知件数の学年別、男女別内訳(小学校)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
男子	0	6	3	1	4	1	15
女子	0	3	1	5	1	1	11
小計	0	9	4	6	5	2	26

平成26年度 いじめの態様(小学校) ※複数回答

冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、いやなことを言われる。	16
仲間はずれ、集団による無視をされる。	7
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	8
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	2
金品をたかられる。	0
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	1
いやなことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	0
パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	0
その他	0
計	34

平成26年度 いじめの認知件数の学年別、男女別内訳(中学校)

	1年生	2年生	3年生	計
男子	2	3	1	6
女子	2	0	0	2
小計	4	3	1	8

平成26年度 いじめの態様(中学校) ※複数回答

冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、いやなことを言われる。	6
仲間はずれ、集団による無視をされる。	1
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	1
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	0
金品をたかられる。	0
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	0
いやなことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	0
パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	1
その他	0
計	9

不登校児童数及び学年別内訳(小学校・在籍児童数5737人)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
男子	2	1	0	6	1	6	16
女子	0	3	0	4	1	4	12
計	2	4	0	10	2	10	28

不登校生徒数及び学年別内訳(中学校・在籍生徒数2709人)

	1年生	2年生	3年生	計
男子	14	17	20	51
女子	6	13	22	41
計	20	30	42	92

不登校の主な理由

小学校

中学校

不登校の主な理由		小学校	中学校
学校に係る状況	いじめ	0	0
	いじめを除く友人関係をめぐる問題	1	7
	教職員との関係をめぐる問題	0	1
	学業の不振	0	1
	進路にかかる不安	1	0
	クラブ活動、部活動等への不適應	0	0
	学校のきまり等をめぐる問題	0	0
	入学、転編入学、進級時の不適應	0	3
家庭に係る状況	家庭の生活環境の急激な変化	2	0
	親子関係をめぐる問題	2	5
	家庭内の不和	1	0
本人に係る状況	あそび・非行	0	4
	無気力	8	19
	不安など情緒的混乱	11	36
	意図的な拒否	0	15
その他本人に関わる問題		2	1
計		28	92

暴力行為加害児童生徒数

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
小学校	0	7	3	2	1	3	16
中学校	7	8	11				26

平成26年度の主な取組

○富士見市いじめのない学校づくり子ども会議の開催

全小中学校から代表児童生徒が参加し、子ども主体で会議を運営した。

平成25年度「富士見市いじめのない学校づくり子ども宣言（小学生宣言・中学生宣言）」を発表した。

子ども会議をその日一日だけのイベントとはせず、事前や事後に各学校で関連したいじめの防止等の活動に取り組む。

- ・平成26年度は、「富士見市いじめのない学校づくり子ども宣言（小学生宣言・中学生宣言）」に基づき、小学校部会・中学校部会で各学校の特徴的な取組を発表し合い、いじめの根絶について意見交換した。

○いじめ撲滅対応推進委員会の発足

- ・各学校におけるいじめの防止等のリーダーの育成。
- ・いじめのない学校づくり子ども会議の開催に向けた、各校における児童生徒への指導・支援。
- ・各学校でのいじめ問題等に関する取組状況の情報交換や、いじめ防止のために学校で取り組む効果的な内容の検討。

○「道徳教材作成プロジェクトチーム」の開催

- ・富士見市在住の方を題材に、困難に立ち向かう中で自分の良さを知り、自分の生き方を見つける市独自の道徳教材を作成した。
- ・道徳資料教材の作成を通し、道徳の授業の質を向上するとともに、教師の道徳の授業力向上を目指した。

○ネットトラブルの未然防止のための教育支援ソフトの導入

- ・各学校のパソコン教室のコンピューターすべてに、動画等でネットトラブルを学べる教育支援ソフトを導入し、児童生徒がわかりやすくネットトラブルの危険性を学べる環境を整えた。

○富士見市いじめ、不登校の課題解決に係る生徒指導・教育相談研修会の実施

○ピア・サポート研修の実施

- ・平成27年度からの本格実施に向けて、夏季休業中の富士見台中学校区（富士見台中・鶴瀬小・諏訪小・つるせ台小）の小中合同研修会としてのピア・サポート研修会を実施。
- ・ピア・サポート研修会（希望研修）の実施

○「小中連携支援シート」及び「紙上コンサルテーション」の導入

- ・中1ギャップ未然防止のために、小学校で不登校傾向がある児童に対し一貫した9年間の指導・支援ができるよう、小中相互の教職員が「小中連携支援シート」により情報を共有するとともに、「紙上コンサルテーション」を参考とし、不登校の未然防止に取り組んだ。

平成27年度の主な取組

○富士見市いじめのない学校づくり委員会の開催

- ・年3回の開催。
- ・富士見市基本方針に基づく、いじめの防止等の取り組みを点検、評価するとともに、その取り組みに対する具体的改善策及び実行的な方策を検討する。
- ・富士見市のいじめの防止等をさらに充実し、効果的なものとするよう、いじめ防止基本方針の内容を見直す。
- ・重大事態発生時、厳正、公平に調査をし、事実を明らかにする。

○富士見市いじめ防止基本方針の策定及び条例の推進

- ・7月に策定した本方針により、富士見市いじめ防止条例を総合的かつ効果的に推進する。また、本方針を広く市民に周知する。

○富士見市いじめのない学校づくり子ども会議の開催

- ・過去2回開催した富士見市いじめのない学校づくり子ども会議を今年度も開催する。司会進行等も含め児童生徒主体で会議を運営し、子ども主体でいじめの防止・解消に努める取組とする。

○いじめ防止対策推進委員会の開催

- ・昨年度「いじめ撲滅対策委員会」として発足した委員会（各学校の生徒指導主任に委嘱）を、「いじめ防止対策推進委員会」に改称。
- ・各学校におけるいじめの防止等のリーダーの育成。
- ・いじめのない学校づくり子ども会議の開催に向けた、各校における児童生徒への指導・支援。
- ・各学校でのいじめ問題等に関する取組状況の情報交換や、いじめ防止のために学校で取り組む効果的な内容の検討。

○「道徳教材作成プロジェクトチーム」の開催

- ・富士見市在住の方を題材とする新たな市独自の道徳教材資料を作成に取り組む。
- ・今までに作成した市独自の道徳教材資料の活用を推進する。
- ・道徳資料教材の作成を通し、道徳の授業の質を向上するとともに、教師の道徳の授業力向上を目指す。

○ピア・サポートの導入

- ・児童生徒が相互の人間関係を豊かにするための学習の場を設定し、そこで得た知識やスキルをもとに仲間を思いやり支える実践活動を推進する。
- ・富士見市市教育委員会委嘱「ピア・サポート事業」課題研究の実施。
- ・夏季休業中の富士見台中学校区（富士見台中・鶴瀬小・諏訪小・つるせ台小）の小中合同研修会としてのピア・サポート研修会を実施予定。

○「小中連携支援シート」及び「紙上コンサルテーション」の活用

- ・中1ギャップの未然防止のために、作成した「小中連携支援シート」、その内容に応じた「紙上コンサルテーション」を活用した小・中学校での取り組みを情報共有し、中学校区を中心としに一貫した9年間の指導・支援に取り組み、不登校の解消、未然防止を目指す。